

【様式 1】

**令和 7 年度戦略的大学改革・イノベーション創出環境強化事業
実証事業 令和 7 年度採択校フォローアップ調書
(令和 8 年 4 月交付分)
法人名：国立大学法人宇都宮大学 大学名：宇都宮大学**

(1) 取り組みの対象テーマ

取組テーマ	○	観点 2：社会実装・イノベーションの推進
		観点 3：地域貢献の強化

(2) 2 年目交付による取組計画と見込まれる効果（令和 8 年度）

2 年目の交付により、どのような取組を実施し、それにより（1）に示したテーマでどのような効果が得られると見込まれるかを示すこと。

(2) - 1. 提案する取組の具体的な内容と実施計画

本交付金を活用した取組スケジュールの概要は下表のとおり。応募時からの主な変更点として、社会実装・イノベーションの観点における施設整備の計画を見直し（導入時期を一部前倒し）、令和 8 年度中にハードを含む体制整備を完了させることとした。令和 9 年度以降の大学改革を加速させるため、令和 8 年度は未来への起点となる重要なフェーズと捉えている。

本実証事業期間中の取組スケジュール（概要）

羅針盤の観点	R7 年度	R8 年度	R9 年度
① 多様性・卓越性の強化	海外ネットワーク拡充 受入・派遣支援体制検討 標準化教育の検討	海外研究者受入拡充 海外派遣支援制度強化 標準化教育の試行	国際共同研究への進展 研究者の海外派遣拡大 標準化科目の導入
② 研究環境の整備	論文投稿支援の強化検討・試行 AI マッチング導入検討 研究支援体制の強化検討 学際研究ユニット構想・試行	論文投稿支援の強化 AI マッチング導入 URA 採用・育成 内部登用制度の検討 学際研究ユニット形成	成果検証・制度の改善 AI マッチング利用拡大 研究支援人材の拡充 内部登用の試行 文理融合型共同研究
③ マネジメント改革	経営戦略オフィス設置 業務・組織改革着手 ファンドレイザー公募等	経営基盤強化策の検討、 実施（財務・人材等） ファンドレイザー採用 Fundraising 戦略実行	EBPM 定着 寄付受入施策の展開 Fundraising 強化
④ 社会実装・イノベーションの推進	施設整備構想・設計等 共用研究設備導入検討 コーディネータ採用準備	オープン加工室・Fablab インキュベーション施設 共用研究機器導入 コーディネータ採用 共創に向けた周知広報	施設稼働 共創 PJ 選定・利用開始 機器導入・利用拡大 大型共同研究の推進

令和 8 年度の実施計画（詳細）

① 多様性・卓越性の強化

宇都宮大学国際光工学ネットワーク（UU-GON）の連携を推進し、フォーラムやミーティングなどの研究者交流企画を実施しつつ、国際ネットワーク拡大のため、新たな学術交流協定締結に向けた協議を進める。また、海外派遣制度を拡充し、若手を中心に研究者の海外派遣を推進する。併せ

て、海外研究者の受入体制を強化するため、事前の連絡調整や滞在環境準備など、これまで教員が多く時間を費やしてきた業務を代替する要員を新たに配置する。これにより、研究者の研究専念時間を確保するとともに、国際頭脳循環を加速させる。

標準化教育について

令和8年度については、標準化教育プログラムの設計のための試行的な取組として、大学院のオムニバス科目の一部の回を使用し、標準化をテーマとした授業を実施する。併せて、招へいする外国人研究者と協力し、国際的な計測・標準化をテーマとするワークショップやセミナーを開催する。並行して、授業化に向けた検討（内容・人員等）を進め、令和9年度に大学院課程への授業科目導入を目指す。

② 研究環境の整備

【影響度の高い国際ジャーナルへの投稿促進】

既存の投稿支援制度について、Cite Score や IF に基づき、支援対象ジャーナルに戦略的な基準を設けつつ、支援上限額アップや支払い方法の弾力化、若手研究者への重点支援の観点から抜本的に見直しを行う。令和7年度の試行結果を踏まえ、影響度の高い国際ジャーナルへの挑戦を後押しする強力な制度へと刷新する。

【AI・デジタルを活用した研究環境整備】

AI を活用した研究者マッチングシステムや論文作成時の英文校閲・剽窃検証機能を備えたサービスを導入し、全学的に展開することで高度でスマートな研究支援環境を構築し、研究の質向上や研究者の負担軽減につなげる。

【研究支援体制の強化】

URA 等の研究開発マネジメント人材の拡充と持続可能な研究支援体制構築のため、リクルートやMEDiTech（一般社団法人医工協創拠点：研究支援人材の派遣サービス等を手掛ける）と連携して、人材確保を図りつつ、学内人材の内部登用・育成計画等の制度設計を進める。

【学際研究ユニットの形成】

イノベーション創出に向けて、領域融合型の研究を推進するため、大学主導で戦略的な学際ユニットの形成を企画し、当該ユニットの研究を重点テーマとして研究推進経費を措置する。（まずは、オプティクスを核として、地域産業界のニーズ等を収集の上、分野融合型ユニットを編成する。）また、有望なボトムアップ型のユニット提案を採用する仕組みを整備し、学際研究を促進する。

③ マネジメント改革

社会状況やアクションプランの進捗を踏まえ、本学の経営上、優先的に対応すべき領域に、適切な課題を設定し、実効性のある戦略を立案するとともに、その進捗状況をマネジメントが適切に管理し、戦略を着実かつ機動的に実行するための体制として、経営戦略オフィスを設置する。

本オフィスを中心に、令和8年度はファンドレイジング戦略を策定し、寄附金受入拡大に向けた施策を実行する。また、ファンドレイジング体制整備の一環として、地域の金融機関等と連携し、資金調達に関する専門的知見をもつ人材をファンドレイザーとして採用し、財務基盤の強化に向けた取組を推進する。

④ 社会実装・イノベーションの推進

【共用研究設備・インキュベーション施設の整備】

本学陽東キャンパスのイノベーション支援センターを一部改修し、FabLab（オープン加工室）及びインキュベーション施設を整備する（令和9年2月完成目途）。また、先進的な光工学共用設備や研究機器を導入し、世界水準の研究を支える共創環境を整備する。これにより、本学の測定・評価機関としての機能を向上させ、連携機関及び企業等との協働を通して標準化活動を推進し、国内、さらには国際的なルール形成への関与度を高めていく。

【産学連携コーディネータの配置、共創に向けた周知広報】

本学の研究力向上・産学連携の更なる推進を図るため、URA やコーディネータ等の研究支援人材の増員を計画し、継続的なリクルートを行う。併せて、主要な国際展示会への出展等を含む産業界への戦略的な情報発信・プロモーションを実施し、企業等との接点形成やニーズの把握を通じて、

社会実装・イノベーション創出に向けた共創機会の増加につなげる。

進捗を図るための KPI 及び目標数値は、下表のとおり設定する。

観点	KPI	現在値	R7 年度	R8 年度	R9 年度
①	海外との連携協定数	88 件	89 件	92 件	96 件
	外国人研究者比率	7.20%	7.20%	7.6%	7.8%
	教員の海外派遣者数/年間	4 人	5 人	7 人	10 人
②	論文数	203	209	224	244
	研究支援人材数	4 人	4 人	5 人	7 人
③	ファンドレイジング人材数	0 人	0 人	1 人	1 人
	寄附獲得件数/年間	80 件	86 件	102 件	130 件
④	民間との共同・受託研究の受入総額	約 3 億円	3.1 億円	3.4 億円	4 億円
	民間との共同・受託研究件数	189 件	195 件	205 件	220 件

(2) - 2. 提案する取組により想定される効果

AI・デジタル技術を活用した研究環境整備と研究支援体制の強化により、研究者は事務負担が軽減され、論文作成時の剽窃検証や英文校閲、研究者マッチングなどの高度な支援を活用して、質の高い研究をより迅速に進めることができる。さらに、URA やコーディネータの増員とともに、内部登用制度・育成計画を整備し、持続可能な研究支援体制を構築することで、外部資金獲得や国際共同研究の推進を強力に後押しする。こうした研究環境の整備に加え、経営戦略オフィスを中心としたデータ駆動型マネジメント改革を進めることで、意思決定のスピードと精度を高め、大学全体の研究力を底上げする。

また、国際頭脳循環を加速させるため、海外派遣制度を拡充し、海外研究者の受入体制を整備することで、若手研究者が早期に国際的な研究経験を積み、国際共著やトップ 10%論文といった突き抜けた成果が生まれやすい環境を構築する。これらの成果は、FabLab やインキュベーション施設、光工学共用設備を活用した試作や測定・性能評価機能とも結びつき、企業との共同研究や大学発スタートアップ創出を加速させる。さらに、標準化教育の充実により、国際標準化活動に参画できる高度専門人材を育成し、光技術を核とした新産業領域の創出を後押しする。

こうした取組の積み重ねにより、研究力強化と社会実装の好循環が生まれ、地域産業の高度化、新市場開拓、国際競争力の強化へとつながることが期待される。

最終的に、宇都宮大学が国際共創拠点としての地位を確立し、国家戦略級の産業創出に貢献する大学へと発展することで、社会実装とイノベーションの裾野を広げ、地域と世界をつなぐイノベーションハブとしての役割を果たす。

想定される主な成果指標

観点	指標
多様性・卓越性	トップ 10%論文数、国際共著論文数、国際標準化プログラム受講者数
研究環境整備	論文被引用数、学際的論文数
マネジメント改革	外部資金獲得額/運営費交付金
社会実装・イノベーション	大型民間共同・受託研究の件数、大学発スタートアップ設立数